

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3372 回例会 (令和 4 年12月14日・水)

今週のプログラム

12月14日(水) 名誉会員スピーチ

「積小為大と臨機応変」

島根県知事 まるやまたつや 丸山達也氏(名誉会員)

次週のプログラム

12月21日(水)

「例会兼家族忘年会」

例会: 18:30~
忘年会: 例会終了後~20:50 (予定)

・・・結婚月・・・

森岡 隆行会員 2日 勝谷 哲也会員 12日

2022年12月~2023年1月の予定 (★衛星クラブ含む)

★12月14日(水) 衛星クラブ単独例会 13:35~16:30
(株)NTTドコモ中国支社島根支店
13:30 ホテル一畑→ドコモ島根
支店会議室→災害対策用車両見学
→携帯電話基地局見学(大根島大塚
山公園)→16:30ホテル一畑着予定

12月21日(水) 例会兼家族忘年会
例会 18:30~
忘年会 例会終了後~20:50(予定)
(昼の例会はありません)

※12月28日(水) 休会

※1月4日(水) 休会

1月11日(水) 新年初例会
通常通り 12:30~13:30
定例理事会

1月25日(水) 松江4クラブ合同例会
18:30~19:20 (予定) 例会
19:30~20:50 (予定) 懇親会
ホスト: 松江RC

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
12月15日(木)	松江東	ホテル一畑
12月19日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
12月22日(木)	松江東	ホテル一畑
12月26日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
12月27日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
12月29日(木)	松江東	ホテル一畑
1月3日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
1月5日(木)	松江東	ホテル一畑
1月23日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
1月24日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
1月26日(木)	松江東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もごさいますので事前に事務局へ確認願います。

第3371回例会記録

令和 4 年12月 7 日 (水・小雨のち曇り)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	64	48 (リアル 48/6)	16	84.21	86.67
衛星クラブ	10	5 (リアル 5/10)	5	50.00	-

メーカーキャップ: 尾崎 (美濃)、伊原、錦織 (松江南)、天野、佐々木 (松江しんじ湖)、河原 (理事会)

会務報告

佐藤会長

- 本日は会員スピーチ
日本生命保険 (相) 松江支社長 かのひでお 菅野秀生会員
- 衛星クラブから2名出席
青木義親会員、桑原正樹会員

田中幹事

- 第2830地区田中ガバナーより「青森県津軽地方豪雨災害支援金のお礼と報告」が参りました。
全国ロータリークラブから11月15日現在
48,330,000円の高額の浄財が寄せられました。
ご協力ありがとうございました。
- ロータリーレート変更のお知らせ
12月1日より1ドル138円 (現行148円)

- 地区月信担当委員会より差し替えのお願い
月信4号2ページ ガバナーの文章差し替え配付
- 次週12月14日(水) 年次総会開催のお知らせ
- 本日、例会終了後定例理事会開催

中川、服部、中司(結婚月)

ベストメッセージ賞: 該当者なし
司会 山尾義己会場監督

委員会報告

- 親睦・出席委員会 高梨委員長
出席報告

プログラム

「がん検診のススメ」
日本生命保険(相) 松江支社長 菅野秀生氏

ニコニコ箱

24,000 円

佐藤、大野(菅野会員のスピーチに)
谷口博(ひとこと随想に掲載させていただきました。)
山尾、舟越(誕生日)
後藤、高梨(出席100%賞)
井上(入会月)

【12月理事会報告】

- 承認・連絡事項
- ・松江4クラブ合同例会
日 時: 2023年1月25日(水)
ホスト: 松江RC
会費7,000円(1,000円値上げ)
(2022年5月23日松江4クラブ現次期会長幹事会において承認)
- 承認事項
- ・2023-24年度理事・役員の内
 - ・ロータリー研究会の内
一人5,000円は2023-24年度寄付する(予定)
 - ・2023-24年度地区大会当日の支援要請の内
2023年10月22日(日) 交通・安全担当要員7名

ひとこと
随想

血の気が引いたこと...



木原 親 司

全国旅行支援が始まり旅行機運が高まっている昨今ですが、海外旅行に行った時2回ほど血の気が引いて「人生終わった…」と諦めた瞬間がありました。

一つ目は1991年2月 大学の卒業旅行にヨーロッパへ行った時のこと。最初はトルコアンカラ空港に降り立つ予定でした。折りしも湾岸戦争の真っ最中で米軍がアンカラ空港を急遽供用するという事で民間機離発着禁止の連絡が。出発日の2日前に行先を急遽チューリッヒに変更せざるを得なかった所から嫌な予感が…。

アフリカ側地中海沿いを巡る予定がスイス・スペイン・フランス・イタリア・ドイツというミーハーなコースとなったとはいえ、スリヤポン引きに遭いながらそれなりに楽しく過ごしてました。ベネチアからベルリンに列車移動する際、途中のミュンヘンでベルリン行きに乗り換えたつもりが、途中で切り離される側の列車に乗ってしまい車窓からは「なんか有刺鉄線だらけで暗くて薄汚れた街並みだなあ」と感じつつ、気が付いたら予想だにしない「ライプツィヒ」に到着。

ベルリンの壁崩壊後東西ドイツが統合したのは

1990年10月でまだ4か月しか経っておらず、まだ頭の中では「東ドイツの工業都市ライプツィヒ」のまま。ベルリンの壁を乗り越え亡命しようとして銃で狙われているあの映像が脳裏に…「やばい、シュタージに連行される。終わった」。暫くして冷静になり、念のため怖いので駅員に西ドイツである旨を何度も確認し、結局は全く問題なかったのですが、脳内変換ができず手足が震えて「血の気が引いた」瞬間でした。

二つ目は労組主催の団体旅行でオーストラリアに行った時のこと。途中シンガポールでのトランジットの際、手荷物検査場のX線機器にウエストポーチを通した瞬間、なんと銃弾の形がはっきりと映し出され即座に自動小銃を持った警官達に囲まれ連行。友人の沖縄土産の葉巻キーホルダーにトランクの鍵をつけていたのを思い出しました。添乗員と一緒に「使用後の葉巻を使ったキーホルダーで実弾ではない」ことを1時間ほど説明し漸く解放され、ギリギリオーストラリア便に飛び乗りました。銃弾の形がX線に映り、葉巻キーホルダーを付けていたことに気づいた瞬間「なんで葉巻つけてきたんだ。終わった」とその場に崩れ落ちたのを思い出しました。

今となっては良い思い出ですが、あんな経験はご免被りたいものです。でも旅行はやめられない…。

以上

(電気器具製造販売)